



令和四年度 みななかみ町

二十歳の集い

◆昨年4月に成年年齢は18歳となりましたが、みななかみ町は成人式から「二十歳の集い」に名称を改め、年度内に二十歳になる対象者の有志による実行委員会が式典を企画運営します。

1月8日(日)、カルチャーセンタールにおいて、みななかみ町二十歳の集い実行委員会の企画運営による、初めての「みななかみ町二十歳の集い」が開催されました。

皆さんはこの日のために用意したスーツや紋付袴、振袖などに身を包み、歓びと責任を感じ決意新たに厳粛な雰囲気の中で臨みました。

対象者167名に対し阿部町長は「ふるさとみなかみを愛し、豊かな心を持って、たくましく生き抜いていくみなさんをいつまでも応援しています」と式辞を述べました。

式典終了後には、青春時代とともに過ごしてきた同級生と久しぶりに再会し、談笑する姿がみられました。

当日は134名(男子61名、女子73名)が参列し、改めて夢や目標に向かって進む決意をしました。

対象者	男 子	女 子	計
月夜野地区	38名	40名	78名
新治地区	19名	29名	48名
水上地区	15名	17名	32名
町 外	5名	4名	9名
計	77名	90名	167名

新治地区



月夜野地区





誓いのことば



須藤晃斗さん

成人としての誇りを持ち、強い心と体をつくり、自主自立の精神を持ってこれからの社会に向かっていくことを誓います。

自主的な人間になるために

私たちは、生涯学習時代を迎えた今日、自己の個性を伸ばすとともに、他人の個性をも尊重し、創造的な人間になるための努力をするを誓います。

真に誠実な人間であるために

私たちは郷土を愛し、心豊かで誠実な、真に美しい人間でありたいと願いその姿を目指していくことを誓います。

よき社会人であるために

私たちは、みなかみ町を誇りに思い、この故郷を愛し、地域社会の発展のために弛まない努力をしていくことを誓います。

答辞



神保陽太さん

日韓W杯が開催されたあの年に生まれた私たちもそれから5回のW杯を経て、ついにこの日を迎えることができました。あつという間の感覚とは裏腹に、たくさんさんの思い出と成人になったことを実感させられます。思い返せば、たくさんさんの支えにより今日を迎えています。特にこれまでお世話になりました先生方のお力添えには感謝の気持ちでいっぱいです。

また、記憶のない頃からどんな日も大きな愛情で支え、導き、見守ってくれた家族への感謝は特に大きいです。本当にありがとうございます。この町を後世の人にも残したい、この町ですつと思いを増やせるようにみんなで全力で生きたいと思えます。

まだまだ未熟な私たちではありませんが、今日まで支えてくださった全てのひと、この町に、恩返しするために日々精進することを誓い、答辞とさせていただきます。(一部抜粋)

実行委員の皆さん



水上地区

